

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ **学校力向上プラン【学校評価書】**

堺市立浜寺小学校  
校長 島原 宏文

<p>中学校区におけるめざす子ども像</p> <p>①学びの基礎をつくり、自分らしい学びを深めることも ②他者と協力し、自他の違いを認め、多様性を尊重することも ③運動する習慣・意欲・能力を高め、運動に親しむことも</p>	
<p>教育目標「豊かな心で自ら学ぶ子」 スローガン「いきいきとしている学校—子どもも教職員も—」※子どもも大人もわくわくする取組・主体的・創造的な取組の推進 ※あらゆる場での居場所と出番の確保（誰一人取り残さない）</p> <p>令和8年度 重点目標</p> <p>○基礎的・基本的な学力の定着と家庭学習・運動習慣の形成、考え抜く力の育成をめざす（二極化解消）。 ○知(知識・技能)・徳(豊かな心・道徳性)・体(健康・体力)を一体的に育む中で、教員の指導力向上をめざす。 ○地域をキャンパスとしたり、地域人材を活用したりして、地域共育学校の取組を推進し、地域を愛し地域に誇りを持ち「それぞれの世界で社会貢献できる」素地をつくる。</p>	
<p>「確かな学び」の現状</p> <p>○学力については、昨年度4年から6年学力調査では、5年算数以外において、全国や府の平均点を上回る結果となった。学力の二極化においても改善傾向が見られたが、資料を比較しながら考える問題等に課題が見られる。 ○考え抜く力の育成に向けては、「家庭学習」「授業」を通し、継続して基礎基本の定着を図るとともに、課題設定のあり方など、自ら学びを進めるという視点をもちながら、取組を進める必要がある。 ○思考力を問う問題に向かう際、主体性が高まっている児童とそうでない児童との二極化が見られる。</p>	<p>「豊かな心・健やかな体」の現状</p> <p>○児童学校アンケートの結果や実際の子どもたちの様子から「挨拶・廊下歩行」については、課題が見られる。 ○「早寝早起き(睡眠)」や「読書・運動習慣」等についても課題である。これらはスマートフォン等でのゲーム・SNSの利用時間の長さとの関連が考えられることから、家庭・地域と連携を図りながら、情報モラル教育等、学年・学校の取組をさらに工夫したい。</p>

中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認(7月) 【よくできたS・できたA・あまりできなかったB・できなかったC】		達成状況(年度末)【よくできたS・できたA・あまりできなかったB・できなかったC】	
						自己評価2月	学校関係者評価3月	自己評価2月	学校関係者評価3月
確かな学び 学力向上・授業改善	基礎基本の習得に向け朝学や赤ペン先生や地域人材も活用し、学びの土台づくりを行う。 「いきいきと学び続ける子」の育成のため、子どもたちが「知りたい! 伝えたい!」と意識が高まるよう授業改善を行う。	★基礎基本の習得に向け、子ども自身が具体的なことから問題意識を持ちICT等活用しながら「いきいきと学び続ける授業」につながるような課題設定について教材研究を深める。 ・朝学・朝読の実施(各週2回) ・赤ペン先生実施内容の検討・工夫 ・ドリルパーク(パソコン)の活用等	・基礎基本習得に向けた具体的な課題設定の内容と子どもの取り組みの様子やノート、成果物の状況。 【児童アンケート「勉強のことやこまっていることについて、先生に話しやすい76%」 【教員アンケート「基礎基本習得に向けた課題設定ができた」】	各クラス・学年・研修部会振り返り 取組状況 子どもの様子観察 ノート・成果物 【児童アンケート】 【教員アンケート】	適宜 7・12月				
		●★子どもの主体性の育成をめざして、子ども自身が問い(課題)を設定し、解決する過程で考え抜くことにより思考力を高める。	・学年会等で、学年の取組を振り返り、成果と課題の確認を月一回以上、行う。 ・研究授業時における討議内容。 【児童アンケート「グループやクラスで話すときは、自分の考えを伝え、友だちの意見もしっかり聞いている」91% 【教員アンケート「子どもが考え抜く授業実践週一回以上できた」「探求的な学びの促進(自ら学びを進める授業改善)に向け、学びのコンパス・堺STEAMブックを学んだ」】	各クラス・学年・研修部会振り返り 取組進捗状況 子ども様子観察 【教員アンケート】	適宜 7・12月			-	
		○各教員が指導力を高めることが、子どもの学力向上に寄与するという考えから、得意分野を各教員がさらに伸ばすとともに、お互いの聞き合い、困り感を伝え合えるような補完関係を構築する。	・各教員による得意分野の研究実績。 スキルアップ研実施状況 ・低学年も空き時間を確保し、各教員が月一回以上はほかのクラスの授業を見に行き、授業改善しようとする。 【教員アンケート「月一回以上見て授業改善できた」】	改善した授業の回数 子どもの様子観察 【教員アンケート】	適宜 7・12月				
	学習習慣を定着させる一方策として、家庭での習慣づくりを行い、自ら学ぶ子の育成をめざす。	○毎日の宿題に加え、自分に合った取り組み(読書、自主学、タブレット学習等)が計画実行できるように家庭学習のあり方について考える。 ○自主学習の必要性について自主学習コンテスト等による子どもと保護者の意識を引き続き高める。	・毎日の宿題について教員が確認し、100%提出をめざせたか。 ・家庭学習について、自らが計画を立て学習する手立てを学期に一度以上。 ・学校、学年、クラスでの自主学習が高まるような取組を学期に一度以上。 【児童アンケート「自分から、きちんと宿題に取り組んでいる」90%】 【教員アンケート「学校、学年、クラスでの自主学習が高まるような取組ができた」】	自主学習ノートの内容 【児童アンケート】 【教員アンケート】	適宜 7・12月				

豊かな心	人権教育・生徒指導	いじめのない「笑顔あふれる学校」をめざし、他者理解を進めながら自尊感情を高める取組を行うこと、お互いに認め合える人間関係作りを構築する。そのために、道徳も含めて、障害者理解教育等を中心とした人権教育を推進するとともに、子ども自らが考え実現する取組を効果的に行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●★他者理解を進めながら自尊感情を高める取組を推進し、居心地のよい集団づくりを進める。</li> <li>・特別活動はもとより授業の場で、「居場所と出番」を確保する。(もちあじの取り組み)</li> <li>・いじめを含めた問題行動の未然防止の取組の推進。(学期毎のいじめ防止基本方針の見直し、i システムの活用による継続的な見守り・指導、いじめ防止授業・研修の実施、低学年からの情報モラル教育等)</li> <li>※情報モラル教育推進の一側面として、タブレットの使い方やSNS使用時に注意することなど担任が中心となって進める。</li> <li>・発覚した場合早期解決に向けた対策会議の設置と解消に向けての取組 (SSW・SCの活用検討)。</li> </ul>	取組の内容とこどもの様子(いじめ・不登校・問題行動) 【児童アンケート「学校へ行くのが楽しい」88%】 【児童アンケート「スマートフォンやゲームなど使い方や使う時間を決めて守っている」79%】 【教員アンケート「授業や活動時に児童の居場所と出番を作れた」】	各クラス等の取組 各クラス・学年・人権・生指部会振り返り 職員会議 タブレット使用の実態 こどもの様子 【児童アンケート】 【児童アンケート】 【教員アンケート】	適宜 毎月7・12月					
		○浜寺っ子の決まり等をつくるための子ども自らが参画した仕組みづくり ○挨拶のあり方や学校への持ち物について、みんなが楽しく過ごせるルールなどについて子ども自らが参画し、その意味を理解するとともに、ルールを守ろうとする規範意識を醸成させる。 ・生活目標は朝礼で「月始めに知らせる⇒月末ふりかえる」サイクルを設け、写真(良い所)などを用いて見える化する。 ・児童会の挨拶運動から全校に挨拶運動を広める。 ・児童会(ルールメイキング)では、新校舎での安全な過ごし方や二期完成予定の運動場の使い方など子どもが主体となって企画検討する。その際「自分たちで決めたルールを自分たちで守る」ということ子ども主体を大切にす。	・道徳の取組や生活目標の振り返り状況とこどもの様子(特に挨拶・廊下歩行) ・児童会(ルールメイキング)での子どもが主体の活動状況 【児童アンケート「廊下歩行のルールを守っている」66%】 「自分から進んで挨拶をしている」85%】 【教員アンケート「約束や決まりの意義について子どもが考える指導ができた」】	各クラス・学年・人権・生指部会での振り返り 実施後のこどもの実態観察 【児童アンケート】 【教員アンケート】	適宜 7・12月						
		○お互いを認め合える集団づくり 特別活動や生活科・総合的な学習の時間・道徳等をととしてより良い集団づくりを行う。 (具体的な取組) ・はまでらっ子グループ ・異学年交流 ・障害者理解教育・国際理解教育・平和教育における朝礼等工夫 ・考え議論する道徳 等	実施内容や回数・こどもの様子 【教員アンケート「特活・生活・総合・道徳等を通してより良い集団作りができた」】	各クラス・学年・人権・生指部会での振り返り 実施後のこどもの実態観察 【教員アンケート】	適宜 7・12月						
健康な身体づくり	健康な身体づくり	自己の健康に関心をもち運動に親しむこどもを育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>★●運動に親しむこどもの増加に向け、授業において個に応じた場の設定を工夫し、体力づくりを推進する。</li> </ul>	・体育実技研修を行うなどして、日々の体育の授業における体力向上の取組の研究と充実状況 【児童アンケート「休み時間は体育館などで遊び、体育の時間はしっかり運動している」86%】 【教員アンケート「体育授業時に個に応じた場の設定を工夫できた(体育指導の手引き活用)」】 【児童アンケート「体育の授業楽しい: 昨年度5年男90%(堺94.5)女88.3(堺87)」】	・保体給部会での実践の持ち寄りと研修の内容及び回数 【児童アンケート】 【教員アンケート】	適宜 (7・12月必ず)					
		○令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(5年)やスポーツテスト(全学年)の課題等から目標・取組内容を設定。 ○体育的行事を教員がこどもと共にイベント化することにより、こども自身が体力向上に対する意識を高める取組を考える。	・委員会・学年等で運動・スポーツへの関心を高められるような取組の実施状況(学校での浜リンピックや縄跳び大会等や、家庭での運動の啓発等)。 【児童アンケート「体力・運動能力向上の目標を立てている: 昨年度5年男92.3%(堺95.1)女94.1(堺91.8)」】	保体給部会での実践 持ち寄りの内容 実施状況 【児童アンケート】 【教員アンケート】	適宜 (7・12月必ず)						

			【教員アンケート「体力向上に向け、学級や学年で取組を工夫し、実践できた」】							
		○本校における保健課題に応じた保健指導を計画的に行う。 ●食育・睡眠教育の推進 ・身体測定、検診時の保健指導 ・各教室での事前事後指導 ・保健委員会による啓発 ・個別の保健指導 ・「いのちの授業」 ・「ツボミスクール」 ・薬物乱用防止教室 ・口腔衛生指導、性に関する指導 ・給食時の食事のマナー	実施内容とこどもの健康への関心等様子  【児童アンケート「睡眠の大切さかわかり、早寝早起きをこころがけている」72%】 （「こどもは毎朝朝ごはんをしっかり食べている」92%） 【教員アンケート「保健課題に応じた保健指導ができた」】	実施内容・回数 児童観察 振り返りシート 児童・保護者・職員感想 【児童アンケート】 【教員アンケート】	7・12 月					

校長より（年度末）

学校関係者評価者から（年度末）